世界自然遺産知床羅臼とのかかわりから学ぶ

羅臼町立春松小学校 校長 佐藤 玲子 担当者 教頭 中川 公孝

1 本校のESDの特徴

今年度の本校の学校経営の重点目標を『豊かなかかわりを通して,子供一人一人の自己肯定感を高める』 と定め,教育活動を計画,実行している。

今年度の重点目標を達成に迫るための方法の一つとして、学習指導の充実を柱に、教育計画にESDを位置付けて意識的に取り組んでいる。それぞれの教科指導をきちんと行うとともに、世界自然遺産知床羅臼の文化や伝統を取り入れたつながりのある総合的な学習の時間の学習指導を行っている。

2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

学年	単元名	対象	学 習 内 容	外部との連携	フィールドワーク	時数
3	ふるさと 探検隊 I	植物昆虫	④身近な草花や樹木を知る学習④身近な昆虫を知る学習②在来種と外来種を知る学習②ハチ学習	○知床財団 ハチ学習 ○羅臼町	⑤熊越の滝	27
生生			④外来植物を使った(駆除とその利用)草木染めex.オオアワダチソウ(黄)・ムラサキツメクサ(薄紫)・キヌガサギク(黄)⑥まとめ・校内発表会	教育委員会 〇羅臼町 郷土史料館		
4 年 生	ふるさと 探検隊Ⅱ	動物	②知床に生息する陸の動物を知る学習 ②知床に生息する海の動物を知る学習 ②クマ学習 ⑩テーマ学習 ⑥まとめ・校内発表会・ 町内ユネスコスクール発表会	○ 知床財団 ○ 力で ○ 大学町 ○ 大学町 ○ 大学町 ○ 大学の ○ 大学の で 大学の で 大学の で 大学の で 大学の で 大学の で 大学の の 本学の の 本学の	(英霊山)	28
5 年 生	ふるさと 学び隊	環境 地域	⑤昆布や魚と自然環境について調べるテーマ学習②サケ学習※ユネスコスクールとの交流⑥まとめ・校内発表会	○羅臼漁協 サケ学習 ○知床自然 センター ○斜里側 (峰浜小学校 or ウトロ小学校) ユネスコスクール	⑥知床峠経由 ウッキン ウッキョン カー カー カー カー カー カー カー カー カー カー カー カー カー	29
6 年 生	ふるさと ふれあい隊	人 地域	⑩地域を支える様々な人について 調べるテーマ学習 ex.漁師・酪農家・町長・自営業者・ 医者・看護師・消防士・救急救命 士・警察官・住職・各種先生・写 真家・陶芸家・○○に詳しい人等 取材したい人複数 ②ユネスコスクールとの交流 「羅臼の未来を考える」 ⑥まとめ・校内発表会	○地域の人々○羅臼町教育委員会○ユネスコスクール(羅臼小学校)	⑥羅臼湖	29

このほかに

5年生は「北方領土(12)」(2.人権,民主主義の理解と促進)

6年生は「Make Piece!」(2.人権,民主主義の理解と促進)がある。

3 特徴的な活動事例

(1) 校外学習





各学年の発達段階に合わせて,難易度を変え,羅臼の生態や 地形について学びながら,世界自然遺産の雄大さについて感じ る体験的な学習。

1・2年生については生活科で羅臼町郷土資料館内や前庭, 裏山,前浜などで自然の変化や様子について体験を通して気付 く学習を行っている。

(2) 北方領土学習(2. 人権, 民主主義の理解と促進)

5年生は、北方領土の歴史や返還への取組について学習し、北方領土の問題について関心をもつことをねらいとして、元島民の方の話を聞いたり、根室の北方領土資料館を見学したりしている。今年は、宿泊学習に北方少年少女塾を組み込んで実施した。



(3) Make Piece! (2. 人権, 民主主義の理解と促進)

6年生は、戦後 70 年経っても解決されていない北方領土問題や核兵器の問題から、ユネスコスクールとの交流等を通して、世界平和について考えることをねらいとして学習を進めてきた。「原爆の子の像」のモデルになった少女の生涯と広島が歩んできた歴史を通して核兵器の問題を自分の祖父母や元島民の講話から北方領土問題を追究した。また、広島県の幟町小学校(少女の母校、ユネスコスクール)には、担任が平和学習の視察に学校を訪問し、全校児童で折った千羽鶴を届けた。



4 本年度の成果と課題

本年度は、土曜授業を有効活用し、様々な外部講師を招聘することができた。国後島元島民の方、音楽活動をして地域住民を元気づける方、南極観測隊元隊員の方、羅臼で海洋生物の研究を行っている福島の水族館の方と移動水族館。全校の児童が発達段階に合わせて学ぶことができた。4年生は、羅臼の魅力について考えることをテーマに、羅臼でイラストを描きながら観光を盛り上げる方、羅臼のこんぶを使った新商品を研究販売している方、観光船で羅臼の自然の魅力を紹介する方、廃棄する大漁旗を再利用して商品を作る方々、英嶺山を開拓した方を招いて、それぞれが感じている羅臼の魅力について語っていただいた。様々な体験活動を通して、一人一人が自分なりの羅臼の魅力について考え、見付けることができた。